

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 12 月 1 日 (2016.12.1)

【公表番号】特表 2015-533264 (P2015-533264A)

【公表日】平成 27 年 11 月 19 日 (2015.11.19)

【年通号数】公開・登録公報 2015-072

【出願番号】特願 2015-536265 (P2015-536265)

【国際特許分類】

H 0 1 L 51/44 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

H 0 5 B 33/06 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 31/04 1 3 0

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/10

H 0 5 B 33/06

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 10 月 6 日 (2016.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの母線を光電子コンポーネントにインプリントするための方法において、前記母線が、前記光電子コンポーネントの形状に従い、且つ前記コンポーネントの後側における均一な色印象を可能にし、前記方法が、

a) 少なくとも 1 つの基板 (6) を含む基材を提供するステップと、

b) すぐ後に少なくとも 1 つの母線 (1) を導電層上に印刷するステップと、

c) 互いに絶縁された個別の領域を形成するために、前記導電層 (7) を構造化するステップと、

d) 少なくとも 1 つの母線からなる前記構造化された導電層上に少なくとも 1 つの活性層 (3) を堆積するステップと、

e) 前記活性層を構造化するステップと、

f) 対向電極 (5) を適用し構造化する (2) ステップと、

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記基板が、前記母線 (1) が適用される導電性透明層 (7) を更に有することを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

少なくとも 1 つの母線 (1) を適用するための前記印刷プロセスが、スクリーン印刷、またはインクジェット印刷を含むことを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記母線 (1) が、直線、矩形、曲線を含む自由な形状として実現され得、且つ / 又は長手方向コネクタ及びクロスコネクタとして少なくとも 1 つの母線 (1) の同時適用を可能にすることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

少なくとも 1 つの母線 (1) が、前記光電子コンポーネントのモジュールの幅にわたって製造可能であり、且つ前記光電子コンポーネントの前記モジュールの陰極及び陽極を接続点にルーティングすることを特徴とする、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記光電子コンポーネントが、可撓性有機光起電力モジュール又は有機発光ダイオードであることを特徴とする、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の方法。